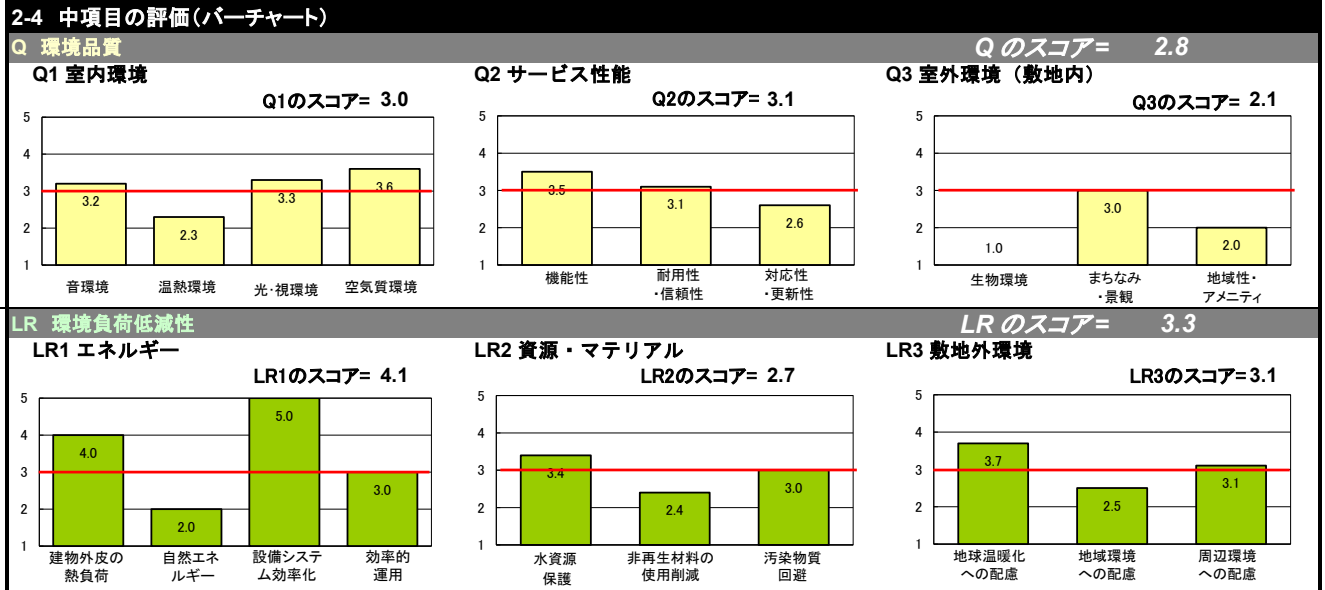
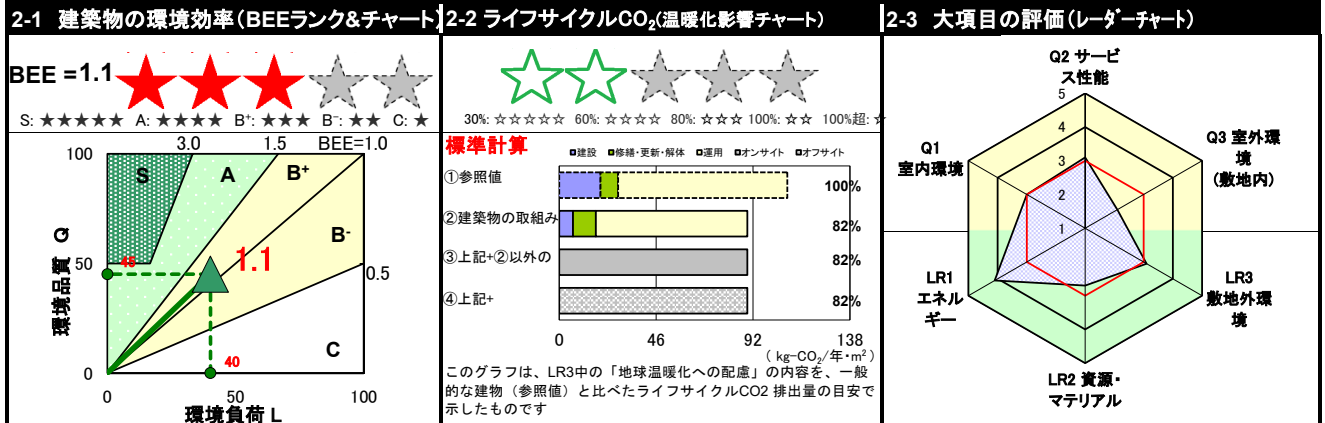




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ガーラ・リバーズスクエア横浜南	階数	地上11F
建設地	横浜市南区日枝町2丁目47番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	156 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 竣工	評価の実施日	2020年3月25日
敷地面積	868 m <sup>2</sup>	作成者	アトリエティープラス
建築面積	474 m <sup>2</sup>	確認日	2020年3月26日
延床面積	4,538 m <sup>2</sup>	確認者	アトリエティープラス



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
断熱性能、敷地内緑化、景観など標準的な取り組みをしている。		
<b>Q1 室内環境</b> 開口部の遮音性能を高め、屋内の音環境に配慮している。 全面的にF★★★★の建材を採用し、室内環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 高速通信設備によりサービス性能に配慮した計画をしている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物空地に可能な限り植栽を計画し、屋外環境に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 標準的な配慮を行っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型水栓器具を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 必要な駐車・駐輪スペースを設け、利便性に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

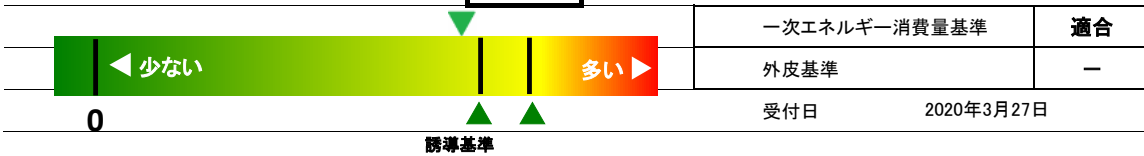
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **ガーラ・リバースクエア横浜南**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **4**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **15** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①過半以上の住戸が断熱性能等級4相当

③BEI=0.85

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材を採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯外装材、配管材料に耐用年数の長いものを採用

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

ガーラ・リバーズスクエア横浜南

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.8</b>	
<b>Q1 室内環境</b>									<b>3.0</b>	
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00		<b>3.2</b>	
1.1 騒音				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		-	
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50		-	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	5.0	0.30		-	
2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-	
1.3 吸音				-	-	-	-		-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00		<b>2.3</b>	
2.1 室温制御				<b>2.2</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		-	
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63		-	
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.38	3.0	0.38		-	
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-		-	
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>4.0</b>	0.20		-	
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30		-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.7</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.3</b>	
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30		-	
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	5.0	0.50		-	
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	0.30		-	
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	3.0	0.20		-	
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30		-	
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00		-	
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		-	
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25		-	
<b>4 空気環境</b>				<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.6</b>	
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63		-	
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00		-	
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38		-	
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-	
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-	
4.3 運用管理				-	-	-	-		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	-	-		-	
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	-	-		-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-		<b>3.1</b>	
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.5</b>	
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60		-	
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-		-	
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	-	5.0	1.00		-	
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-		-	
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40		-	
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	1.0	0.50		-	
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-		-	
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	3.0	0.50		-	
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-		-	
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-	
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.1</b>	0.30	-	-		<b>3.1</b>	
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-		-	
1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-	
2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.9</b>	0.30	-	-		-	
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-		-	
2.4 信頼性				<b>2.6</b>	0.20	-	-		-	
1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	2.0	0.20	-	-		-	
3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	2.0	0.20	-	-		-	
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	1.00		<b>2.6</b>	
3.1 空間のゆとり				-	-	<b>2.0</b>	0.50		-	
1 階高のゆとり				-	-	2.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ				-	-	2.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				-	-	<b>3.0</b>	0.50		-	
3.3 設備の更新性				<b>3.0</b>	1.00	-	-		-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-		-	



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 ガーラ・リバースクエア横浜南

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.1		
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1		
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	4.0		
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	2.0	0.10	-	-	2.0		
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	5.0		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-		
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-		
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-		
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7		
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-		
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-	2.4		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-		
	1 消火剤			-	-	-	-	-		
	2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-		
	3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1		
1 地球温暖化への配慮				3.7	0.33	-	-	3.7		
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-		
	2 污水处理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-		
	3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-		
	4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
	1 騒音			3.0	1.00	-	-	-		
	2 振動			-	-	-	-	-		
	3 悪臭			-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
	1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-		
	2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-		
	3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-		
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-		
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-		

上記以外の重点項目							
<事務用途>							
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-
<住宅用途>							
健康と安心							
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	5.0	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	4.0	-	-	-	-